

# 指静脈認証システム 静紋 J300

## 取扱説明書 ハードウェア編

取扱説明書はよく読み、保管してください。

- ・本製品をお使いになる前に本取扱説明書をよく読み、十分理解し、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは、保証書とともに、いつでもすぐに参照できる所に大切に保管してください。

### 重要なお知らせ

- ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- ・本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の記述内容について万が一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・本取扱説明書に記載された株式会社日立ソリューションズの製品は、全て現状のままで販売、または利用許諾されるものです。
- ・株式会社日立ソリューションズは、本取扱説明書に従わない使用はもとより、製品または製品の使用から生じたいかなる損害(逸失利益、その他の間接損害を含む)についても責任を負いません。

### 製品の信頼性について

- ・購入いただきました製品は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。
  - 一般事務用製品が不適当な、高信頼性を必要とする用途例
  - 化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など
- ・他の認証装置との併用については動作保証していません。

### 規制、対策などについて

#### ■ 電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

その場合は、テレビやラジオなどからできるだけ離したり、テレビやラジオなどのアンテナの向きを変えたりしてみてください。

#### ■ 輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

なお、ご不明な場合は、弊社営業担当にお問い合わせください。

### 廃棄について

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。

#### 表記について

**注意**：装置が故障するおそれがあることを示しています。

**重要**：装置の機能・性能を発揮するために必要なことを示しています。

### 安全にご使用いただくために

#### 注意



- ・本製品を浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機、加湿器のそばなど、水を使用する場所の近くで使用しないでください。故障の原因となります。
- ・USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたりしないでください。USB ケーブルが傷つき、断線による誤作動・故障の原因となることがあります。
- ・本製品を分解や改造しないでください。故障の原因になります。

## 1 はじめに

このたびは、指静脈認証システム「静紋」<sup>じょうもん</sup>をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本取扱説明書は、Windows の基本的な取り扱い方の知識をお持ちの方を対象にして、本製品の認証装置ハードウェアについて説明しています。ソフトウェアの詳細な機能については、アプリケーション CD-ROM の「Documents」フォルダに収録されている「取扱説明書\_ソフトウェア編.pdf」をご参照ください。(PDF 形式で収録してあります。対応するソフトウェアをインストールしてご覧ください。)

### 1.1 製品特徴

本製品は、指の静脈パターンにより個人認証を行う「バイオメトリクス(生体認証)」のシステムであり、次の機能を提供します。

- ・ Windows のログオンマネージャに対する指静脈を用いた認証機能  
(お使いのパソコンへのローカルログオン機能、Windows ドメインへのログオン機能)
- ・ Windows スクリーンセーバのロック解除機能に対する指静脈を用いた認証機能

### 1.2 パッケージ内容の確認

パッケージには次のものが梱包されています。ご確認ください。不足がございましたら、静紋テクニカルサポート窓口 (E-Mail：[johmon-support@hitachi-solutions.com](mailto:johmon-support@hitachi-solutions.com)) までご連絡ください。

- ・ 認証装置 .....1 台
- ・ USB ケーブル (1.8m) .....1 本
- ・ アプリケーション CD-ROM .....1 枚
  - ※ 「取扱説明書 ハードウェア編」、「取扱説明書 ソフトウェア編」、「登録・認証の仕方」、「認証装置用ドライバ」、「指静脈認証ソフトウェア」が収録されています。
- ・ 取扱説明書 ハードウェア編 (本書) .....1 部
- ・ 登録・認証の仕方 .....1 部
- ・ 使用許諾契約書 .....1 部
- ・ 保証書 .....1 部

### 1.3 前提条件

「5.ハードウェア仕様」をご参照ください。

## 2 機器の設置

### 2.1 認証装置の各部の名称と機能

斜め上から見た図

後ろから見た図

① 状態表示 LED

本製品の状態を表します。

状態表示 LED	認証装置の状態
点灯 (緑)	待機中・認証完了・撮影完了
点滅 (緑)	認証中・撮影中
点灯 (赤)	認証失敗・撮影失敗 <sup>*1</sup>
消灯	認証装置を認識していない状態

\*1：アプリケーションによっては、一瞬だけ赤に点灯した後すぐに緑に戻る場合があります。

ビープ音

ビープ音	認証装置の状態
短く 1 度 (ピッ)	認証開始・撮影開始
短く 2 度 (ピピッ)	認証/撮影失敗リトライ開始
短く 1 度 長く 1 度 (ビピー)	認証完了・撮影完了
短く 1 度 長く 1 度 (ビピー)	認証失敗・撮影失敗
長く 1 度 (ビー)	認証キャンセル・撮影キャンセル

② 認証ゾーン

指の静脈を撮影する部分です。

③ 盗難防止用ロック穴

盗難防止用セキュリティケーブルを接続します。

④ USB コネクタ (Mini-B タイプ)

USB ケーブル (Mini-B プラグ) を接続します。

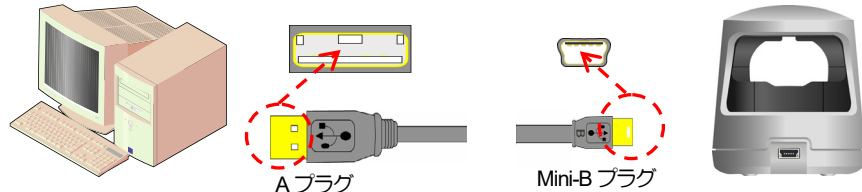
### 2.2 認証装置の設置と取り付け

- ① 認証装置を安定した水平な場所に設置します。この時、照明や窓からの光が認証ゾーンに入り込まないような場所に設置してください。  
新聞を読むのに適した程度の明るさ (300～1000 ルクス) の元での利用を推奨します。

#### 重要

認証装置を窓際など強い光のある場所で使用しないでください。認証精度が損なわれる場合があります。

- ② 付属の USB ケーブルの Mini-B プラグを認証装置の USB コネクタ(Mini-B タイプ) に、USB ケーブルの A プラグをパソコンの USB ポートに接続します。



#### 注意

USB プラグは USB コネクタに確実に差し込んでください。USB ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。ケーブル部分を持って引っ張ると断線などの故障の原因となります。

#### 重要

- ・ USB ハブ経由で接続する時は、USB ハブの電流供給量を確認してください。電流供給量が不足している場合、正常に動作しません。
- ・ パソコンの USB2.0 のポートに USB1.1 のハブを経由して使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- ・ 認証装置は近赤外線を使用しているため装置が温くなる場合がありますが、故障ではありません。
- ・ 認証装置を 2 つ以上同時に接続しないでください。指静脈認証ソフトウェアは複数台接続された場合、正常に動作しません。
- ・ 認証装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

- ③ 本製品の機能を使用するために、認証装置のドライバおよび指静脈認証ソフトウェアをインストールする必要があります。(製造番号の異なる認証装置を接続した場合にはドライバの再インストールが必要になる場合があります。その場合は、アプリケーション CD-ROM の「Documents」フォルダに収録されている「取扱説明書\_ソフトウェア編.pdf」の「1.4 トラブルシューティング」を参照してください。)
- 認証装置をパソコンに接続すると、「ハードウェアの更新ウィザード」または「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますが、ウィザードはキャンセルして、アプリケーション CD-ROM から指静脈認証ソフトウェアのインストールを実行してください。

指静脈認証ソフトウェアのインストールはアプリケーション CD-ROM の「Documents」フォルダに収録されている「取扱説明書\_ソフトウェア編.pdf」を参照してください。

## 3 認証装置の使い方

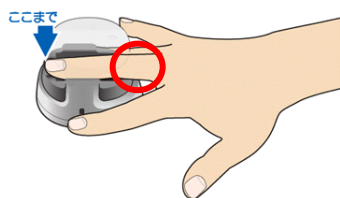
認証装置の認証ゾーンに指を置きます。

#### 重要

- ・ 製品に添付の「登録・認証の仕方」を手元に置いてよく参照してください。
- ・ 認証中は認証装置の認証ゾーンに指以外のものを置かないでください。誤動作の原因となる場合があります。
- ・ 乳幼児や極端に指が細い方(指の幅が 10mm 未満)、太い方(指の幅が 25mm 以上)、指が短い方(指が認証ゾーンの先まで届かない方)は、指の登録や認証に失敗する場合があります。

認証ゾーンに指を置く際には、手のひらを広げ、力を抜くようにしてください。そうすることで、認証に使用する指が回転しにくくなります。

指は認証ゾーンの先にあるくぼみの先端部分(下図「ここまで」の部分)に指先が軽く触れるようにしてください。また、下図囲み部分に指が軽く触れるように置いてください。



#### 重要

- ・ 認証装置への指の置き方によっては正しい認証結果が得られない場合があります。正しい指の置き方については、別紙「登録・認証の仕方」を参考にしてください。
- ・ 認証中に認証装置やパソコンから USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。



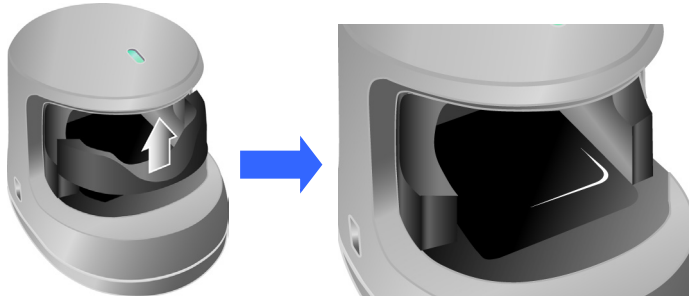
## 4 認証装置のお手入れ

### 注意

- お手入れの前に認証装置から USB ケーブルを取り外してください。ケーブルを接続したままお手入れをすると USB コネクタに負荷がかかり、故障の原因になります。
- 認証装置のお手入れの際、装置内部に水が入らないようにしてください。装置内部に水が入ると、故障の原因となります。
- ベンゼン・アルコールなど有機溶剤を使用して清掃を行わないでください。故障の原因となります。

- ・ **認証装置外観のお手入れ** (1 ヶ月に 1 回程度、もしくは汚れ具合により随時)  
認証装置外観は柔らかい布で乾拭きをしてください。乾拭きしても汚れが落ちない場合は、中性洗剤をしみこませ、固く絞った布で拭いてください。汚れが落ちたら、水に浸して固く絞った布で中性洗剤を拭き取ってください。

- ・ **認証ゾーン部のお手入れ** (1 ヶ月に 1 回程度もしくは、指紋の跡や汚れが目立った時)  
【お手入れに必要なもの】  
柔らかい布  
【認証ゾーンお手入れ方法】
  - ① 認証装置手前の指を置く部分(台座)を上を持ち上げて取り外します。



- ② 認証ゾーンを柔らかい布で清掃します。大きな汚れが目立つ場合には、清掃前にゴミを取り除いてください。
- ③ 清掃が終わったら台座を元に戻します。

## 5 ハードウェア仕様

品名		指静脈認証システム 静紋 J300
適応指幅		10mm 以上～25mm 未満 *1
インターフェース		USB2.0/1.1
寸法 (mm)		約 59(W) × 82(D) × 74(H)
質量 (g)		約 96 (USB ケーブル含まず)
最大消費電流		DC 5V 500mA 以下 (バスパワード方式)
環境条件 (動作時)	周辺温度	5～35℃
	湿度	20～80%Rh (ただし結露しないこと)
環境条件 (非動作時)	周辺温度	-10～60℃
	湿度	20～80%Rh (ただし結露しないこと)
対応 パソコン*4	CPU	各 OS で規定されているシステム要件に準じます
	メモリ	各 OS で規定されているシステム要件に準じます
	HDD	空き容量： 50MB 以上
	インターフェース*2	USB2.0/1.1*3
対応 OS		[32 ビット OS] Windows 8.1 Update 無印 / Pro / Enterprise Windows 10 Enterprise 2016 LTSC (Version 1607 相当) Windows 10 Enterprise LTSC 2019 (Version 1809 相当) Windows 10 Home / Pro / Enterprise Version 21H1 Windows 10 Home / Pro / Enterprise Version 21H2 Windows 10 Enterprise LTSC 2021 (Version 21H2 相当) [64 ビット OS] Windows Server 2012 Standard Windows 8.1 Update 無印 / Pro / Enterprise Windows Server 2012 R2 Update Standard Windows 10 Enterprise 2016 LTSC (Version 1607 相当) Windows 10 Enterprise LTSC 2019 (Version 1809 相当) Windows 10 Home / Pro / Enterprise Version 21H1 Windows 10 Home / Pro / Enterprise Version 21H2 Windows 10 Enterprise LTSC 2021 (Version 21H2 相当) Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard Windows 11 Home / Pro / Enterprise Version 21H2 Windows 11 Home / Pro / Enterprise Version 22H2 ※いずれも日本語 OS

\*1：指を正しく置かない場合には適応指幅であっても認証できないことがあります。

\*2：本装置は USB ハブ経由では使用せず、なるべく PC 本体の USB ポートに接続してご使用ください。  
USB ハブを使用する場合はセルフパワーのハブをご使用ください。  
移動時など USB ポートから外した場合は、前回使用の USB ポートに接続してご使用ください。

\*3：USB1.1 では一部のパソコンで動作しない場合があります。  
USB1.1 は USB2.0 と比べて、転送速度が遅いため、認証時間、描像時間が遅くなります。  
パソコンの USB2.0 のポートに USB1.1 のハブを経由して使用しないでください。

\*4：詳細に関してはアプリケーション CD-ROM の「Documents」フォルダに収録されている「取扱説明書 ソフトウェア編.pdf」を参照してください。

## 6 トラブルシューティング

本装置のトラブルに対する対処方法を紹介しています。トラブルが起こったら、本章および「取扱説明書 ソフトウェア編」の「1.4 トラブルシューティング」をお読みください。解決しない場合は静紋テクニカルサポート窓口までご相談ください。

また、明らかにハードウェア障害と思われる場合は、ご購入先にご連絡ください。

静紋テクニカルサポート窓口  
E-Mail：[johmon-support@hitachi-solutions.com](mailto:johmon-support@hitachi-solutions.com)

以下のウェブサイトにて最新の製品情報を掲載しております。併せてご参照ください。

日立ソリューションズ「静紋」ホームページ：<https://www.hitachi-solutions.co.jp/johmon/>

※上記 URL は予告なしに変更される場合があります。上記 URL が見つからない場合は、弊社ホームページ(<https://www.hitachi-solutions.co.jp/>)よりアクセスしてください。

- **認証装置に USB ケーブルを繋いだが、状態表示 LED が緑点灯しない**  
USB ケーブルを繋いだが、状態表示 LED が点灯しない場合は、次の原因が考えられます。

- ・ 認証装置用のドライバが正しく組み込まれていない  
→ 「取扱説明書 ソフトウェア編」の「2.6 ドライバインストールの確認」を参照してお使いのパソコンに正しくドライバが組み込まれているかを確認してください。
- ・ お使いのパソコンの USB ポートが誤動作した  
→ お使いのパソコンを再起動してください。
- ・ ハードウェアの故障が考えられます  
→ ご購入先、もしくは上記の静紋テクニカルサポート窓口にご連絡ください。

- **認証開始時や認証完了時にピープ音が鳴らない**
  - ・ ピープ音の設定が OFF になっていないかを確認してください  
→ ピープ音の設定方法については「取扱説明書 ソフトウェア編」の「6.9 ピープ音の ON/OFF」を参照してください。

- ・ ハードウェアの故障が考えられます  
→ ご購入先、もしくは上記の静紋テクニカルサポート窓口にご連絡ください。

- **パソコンの電源を切っても状態表示 LED が点灯している**  
お使いのパソコンの種類によってはパソコンの電源を切った状態 (ソフトパワーオフ状態) で USB ポートへの電源供給が行われている場合があります。この時、認証装置の状態表示 LED はスタンバイ状態を示す「緑」色で点灯している状態となります。  
このような状態を防ぎたい場合は、お使いのパソコンの電源を切る場合には認証装置から USB ケーブルを抜いてください。また、お使いのパソコンによっては電源を切った状態での USB ポートへの電源供給の有無を指定できるものもありますので、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- **認証に失敗する**  
「タイムアウトしました。」のダイアログが表示される場合  
本製品での認証時間は 1 回につき最大 10 秒となっています。10 秒で認証できなかった場合は当該のダイアログが表示されます。  
制限時間内に認証が終わらない場合は次の原因が考えられます。

- ・ 認証中に指が動いている  
→ 認証中は指を認証ゾーンに正しく置き、認証が終了するまで動かさないでください。
- ・ 指をけがしている・荒れている、表面が汚れている  
指をけがした状態、手荒れした状態、土ほこり等で汚れている状態で認証を行おうとした場合、正しい画像が得られないために認証が終わらない場合があります。  
→ けが・手荒れの無い手で認証を行うか、手を綺麗にしてから再度認証をしてください。
- ・ 指が太すぎる (細すぎる)  
指が太すぎたり細すぎたりする場合 (指の幅が 10mm 未満もしくは 25mm 以上の場合)、正しい画像が得られないために認証が終わらない場合があります。  
→ 「指を伸ばしてみる」「指を深く入れる」「指を浅く入れる」等の指の置き方を試してください。一般的には指先をくぼみの部分に当てて、真っ直ぐにした状態で認証を行ってください。
- ・ 指を正しく置いていない  
→ 登録時と同様の置き方で指を認証ゾーンに正しく置いてください。
- ・ 指の状態が登録時と異なる  
→ 認証ができなくなった場合 (成長期の子供で指の状態が変わる場合等) は、指情報を再度登録してください。再登録は、該当の指情報を削除し、再度「指情報の追加」を行ってください。  
なお、指情報の追加や削除は「取扱説明書 ソフトウェア編」の「6 ユーザー管理機能」をご参照ください。

- **認証が開始されない**  
認証装置を接続しているのに「使用可能な認証デバイスがありません。」のダイアログが表示される場合

- ・ 認証開始状態になっていない  
→ 認証装置を接続すると状態表示 LED は点灯しますが、すぐに認証を開始することができません。接続後 5 秒ほどお待ちください。
- エラーコード:02xxxxx(x は任意の数字)が表示された場合は、USB コネクタの抜き差し、あるいは別の USB ポートへの接続をお試しください。  
上記をお試しいただいても認証できない場合は、ハードウェアの故障が考えられます。  
お手数ですが、ご購入先もしくは静紋テクニカルサポート窓口にご連絡ください。

## 7 保証範囲

- 株式会社日立ソリューションズは、本製品の装置およびソフトウェアをすべて現状のままで販売または利用許諾します。  
株式会社日立ソリューションズは、本製品について、製品お買い上げ日より 1 年間の保証期間中に装置の説明書に従った正常なご使用状態の下で装置が故障した場合、株式会社日立ソリューションズの判断と選択によって無償で故障部品を修理または新品もしくは同等品と交換することを保証します。  
本保証は、株式会社日立ソリューションズが提供する保証のすべてであり、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任または保証条件に代わるものです。
- 保証期間内において次のような場合は有償修理となります。有償修理期間は装置の新規納入を起点として最長 5 年間とさせていただきます。
  - ・ 保証書の提示がない場合
  - ・ 保証書の所定記載事項が未記入または字句が書き換えられた場合
  - ・ お買い上げ後の輸送および移動時の落下、衝撃等お客様のお取扱いが適正でないために生じた故障または損傷の場合
  - ・ 製品および製品の説明書等に記載した取扱い方法および注意事項に反するお取扱いによって生じた故障または損傷の場合
  - ・ 火災、地震、落雷、その他天変地変、公害、塩害、もしくは異常電圧による故障または損傷の場合
  - ・ 製品に接続した機器に起因して製品に故障または損傷が生じた場合
- 保証書に基づいて修理または交換した部品の保証期間は、修理完了後 90 日間または当該部品が組み込まれた製品の残余保証期間のうち、いずれか長い方とします。その期間内に修理または交換した部品に瑕疵があった場合、株式会社日立ソリューションズは再修理または交換の責任を負うものとします。なお、株式会社日立ソリューションズは当該瑕疵について当該再修理または交換の責任以外損害賠償その他一切の責任を負わないものとします。また、交換された旧部品および装置は株式会社日立ソリューションズが任意に処分できるものとします。
- 株式会社日立ソリューションズは製品または製品の使用から生じたいかなる損害 (逸失利益、営業損害、その他の間接損害を含む) についても責任を負いません。株式会社日立ソリューションズは、第三者からのまたは第三者のためになすお客様からのいかなる請求についても責任を負いません。

### 著作権

All rights reserved.

© Hitachi Solutions, Ltd. 2006, 2022.

© Hitachi, Ltd. 2006, 2022.

本書は株式会社日立ソリューションズおよび(株)日立製作所が全ての著作権を所有しています。本書の著作権は、国内法および国際条約により保護されています。

株式会社日立ソリューションズの書面による同意なしでは、本説明書は一部たりとも、

① 複製・複写・転送・検索機能を持つ記憶装置へ記録すること。

② 他の言語やコンピュータ言語へ翻訳すること。

を禁止しています。また、これらの手段として、電子的、機械的、磁氣的、光学的などのいかなる方法を用いても同じです。

静紋 は 株式会社日立ソリューションズの登録商標です。  
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、および Reader は、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他の商標および製品名は、それぞれ保有している会社の商標および登録商標、あるいはそれらのいずれかです。